

令和3年度 第1回 美濃市総合教育会議 会議録

1 開催日時

令和3年4月12日（月）午後3時00分～午後4時00分

2 開催場所

美濃市防災中央コミュニティセンター2階中会議室

3 出席者（構成員）

市長（議長）	武藤 鉄弘
教育長	島田 昌紀
教育委員	市原 慶子
教育委員	中島 正憲
教育委員	別府 徹也
教育委員	長瀬 秀子

4 事務局

教育次長兼教育総務課長	井上 博司
学校教育課長	武井 由典
人づくり文化課長	曾貝 和人
教育総務課長補佐	古田 志保
秘書課長	高橋 保雄
秘書課課長補佐	島田 勇人

5 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名 傍聴者 0名

6 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会議事項
○第2次教育大綱の策定について
- 4 教育長あいさつ

7 会議録＜開会 午後 3:00 閉会 午後 4:00＞

発言者	発言内容
秘書課長	<p>ただいまから令和3年度第1回美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。</p>
市長	<p>みなさん、こんにちは。本来であれば、この教育大綱については、前年度中に完成し、この4月からこれに基づいてスタートしていく予定でしたが、新型コロナウイルスの関係で、少し日程を遅らせていただきました。今日は、これからの美濃市の教育のあり方を定める教育大綱を決める会議となりますのでよろしくお願いします。特に目標を定めたものについて、どのように検証するのかというところを具体的に定めているので、それぞれご意見いただきながら、より良いものにしたいと思っています。作って終わるのではなく、作ったものを評価しながら、進めていきたいと考えていますので、忌憚のないご意見をお願いします。</p>
秘書課長	<p>ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第4条に基づいて市長が議長となりますので、会議の進行をお願いします。</p>
市長	<p>それでは、要綱に基づき、議長を務めさせていただきます。 前回までの皆さまのご意見をまとめたものを担当課長の方から説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>基本方針及び重点については、前回までに確認いただいておりますので、今回は「達成の目安となる指標」について説明させていただきます。</p> <p>基本方針1の重点1の指標については、各項目を着実に実施すれば、おのずと、全国学力学習状況調査やスポーツテスト結果に表れるという考えから、県平均以上とすることを指標とします。</p> <p>重点2の指標については、ICT教育の教育環境整備ということで、最終年度の令和7年度までにICTを活用した授業時間の割合を100%とすることとし、とにかく使える授業については使っていこうということです。ただし、すべての授業で紙からタブレットに替わるわけではないので、一部タブレットの活用が困難な授業を除くこととします。</p> <p>基本方針2の重点1については、心の教育となりますが、この指標については、教育委員会でアンケートを作成し、年最低2回以上、年度初めと年度終わりに実施し、1年間での満足度を図り、満足度が高まっている児童生徒が増加していくことを指標とします。</p> <p>重点2につきましては、家庭との連携、特にいじめを克服していく為の</p>

<p>人づくり文化課長</p>	<p>指導でやらなければいけないということで必須指標となりますが、いじめ対応に関して全家庭に周知し、理解・協力を得て対応する割合を100%とすることとします。</p> <p>学校教育課からの説明は以上となります。</p> <p>つづきまして、人づくり文化課から説明させていただきます。</p> <p>基本方針3の重点1の指標については、新たにスポーツ等のレクリエーションに取り組む市民の人数を200人以上とするということで、体育協会やスポーツ少年団への加入を促進し、スポーツの活動機会の増加を目指すとともに、ヨガ教室への参加促進や市民スポーツ大会の種目を増やすなど指標の達成を目指していきます。</p> <p>重点2の指標については、伝統文化・芸能等について学ぶ機会を6回以上開催するというので、学校を中心とした美濃学の教育機会の充実を図り、市民啓発として、文化財展等をはじめとしたふるさとの教育の場を倍増させ、市民参加として、市民ミュージカルをはじめとした市民参加型の文化芸術活動の拡充を目指していきます。</p> <p>基本方針4の重点1の指標については、「青少年健全育成市民のつどい」の一般参加者数を50人以上（市民団体等に参加している以外の市民）とすることで、関係団体に参加されている方については、参加率100%を目指した上で、学校やPTAを含めてその他の方々の参加率を上げていくことが重要と考えています。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>基本方針4の重点2について、学校教育課より説明いたします。</p> <p>まず、学校運営協議会を設置していくことが重要で、指標については、全ての学校区に学校運営協議会を設置し、地域との活動の一つ以上実施することとしており、本年度中に協議会を設置し、令和4年度から地域との活動を実施することとします。</p>
<p>市長</p>	<p>分かりやすい指標と少し抽象的で分かりにくい指標があると思いますが、こういった指標で評価ができるのか、他の指標の方がいいのではといったご意見があれば、ぜひお願いします。</p>
<p>長瀬委員</p>	<p>基本方針1重点2の指標について、「総授業時間数（タブレットの使用が困難な授業を除く）」という記述がありますが、困難かどうかの判断基準や誰が判断するのかといったことが不明です。同じ授業でも先生毎に判断するとなると、逆にタブレットを使用する場面を狭めてしまわないか危惧します。割合を算定する総授業時間数から除くことをせずに、例えば割合を50%以上とかにした方がシンプルで分かりやすいような気がします</p>

	<p>がいかがでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>この指標については、6次総のパブリックコメントでご意見いただいたもので、100%としているものの、授業によっては使えないものがあるので検討してみましたが、判断が難しくなっていました。教育の情報化推進計画の中で、主な4つの使い方として「基礎基本を学ぶこと」「自分で学習すること」「考え方を進める使い方」「協働する使い方」をあげており、これらの趣旨に合った授業かどうかを目安にしたらどうかということがありました。誰が判断するのかという問題もあります。</p>
長瀬委員	<p>家庭科とか体育でも、使えそうにないと思っていたが、使えたりすることも十分にあり、その中でより一層学習効果を高めるといった使い方が出来ると思います。やはり、使えるか使えないかを考えること自体に無理があるので、全授業時間数とした方がいいのではありませんか。</p>
学校教育課長	<p>令和7年度が最終年度となりますが、それまでには、すべての授業で使っていない状況であると考えています。当初は、全授業時間数としていましたが、理屈的にいうと、テストの時間もいれるのかといった話もあり、一部除くといった表記を入れておいた方がいいのではとなり、今回のような表記としています。</p>
長瀬委員	<p>除くという表記をなくして、80%か90%とかにしたらどうか。</p>
学校教育課長	<p>先ほど、申し上げたとおり、当初は全授業時間数としていましたが、パブリックコメントの中で、そのような説明を入れた方がいいのではという意見がありましたので、付け加えたということです。</p>
市長	<p>私も除くという表記は要らないのではと思います。また、80%とか90%の根拠も難しいので、目標としては、100%でいいのではないかと思います。ただ、評価の際には、なぜ100%とならなかったかをしっかり分析する必要があります。</p>
学校教育課長	<p>それでは、除くという部分の表記は削除します。</p>
長瀬委員	<p>基本方針1の重点1の指標で「県平均以上とする」とありますが、現状は、平均以下ということですか。</p>
学校教育課長	<p>学力学習状況調査については、県平均以上ですが、スポーツテストにつ</p>

市長	<p>いては、種目によって平均以上のものと平均以下のものがありますので、すべての種目について、平均以上を目指すということです。</p> <p>基本方針3の重点1の指標の200人以上とか、基本方針4の重点1の指標の50人以上とか、なかなか根拠については説明できませんが、どんなものでしょうか。基本方針3の重点1は、新たに200人増やすということによろしいんですね。</p>
人づくり文化課長	<p>はい。そのとおりです。</p> <p>体協とスポーツ少年団の加入促進で60人程、ヨガ等の活動で10人程、市民スポーツ大会で100人程、その他含めて計200人以上という厳しい目標となっています。</p>
長瀬委員	<p>基本方針3の重点2では、6回以上となっていますが、現在0回ということですか。</p>
人づくり文化課長	<p>現在は文化展とか美術展とかで3回ほどやっていますので、プラス3回ということですか。</p>
中島委員	<p>全体的に数値化しようとするのは、難しいもので、例えば行事の観客数に重点をおいてしまうと、興味のない人に動員をかけて集客するのは出来るが、本来はいかに興味をもってもらい参加してもらうかが大事です。その方策について、振興計画の中で、もう少し具体的に考えていきたい。全体的には、これでいいと思います。指標を達成するにはどうしたらいいかを考えるのが重要。市民の意識が変わったと思えるようになるにはどうしたらいいか、子どもたちが卒業して社会に出るときに、その育成に美濃市がどれだけ貢献できたのかが大事で、数字だけを目指すとは難しくなりますが、指標としてはこれでいいと思います。今後、学校と各種団体と市民とが密に連絡を取り合いながら進めていくのが大事だと思います。</p>
市原委員	<p>基本的によくできていると思います。ただ、数字だけを目指にするのではなくて、子どもたちを取り巻く環境や美濃市民の意識を上げていくことが大事だと思います。</p>
別府委員	<p>基本方針3の重点1の指標については、スポーツ少年団でいくと子どもを中心に考えていると思いますが、子ども数は年々減少していますので、親も含めた対策を考えていかないと厳しいのではと思います。</p>

市長	<p>大綱は、少し抽象的となっていますので、今年度中にアクションプランのような形で、教育振興基本計画を策定する予定をしています。</p> <p>それでは、大綱としては、おおむねこれでよろしいでしょうか。</p>
全委員	はい。
市長	<p>教育大綱については、字句の修正を行い、決定することとし、教育振興基本計画については、早急に策定していくこととします。</p> <p>その他で、現在の学校における新型コロナウイルス感染対策はどうなっていますか。</p>
学校教育課長	<p>昨年の6月に学校が再開されてから、基本的には変わっておらず緩めていません。登校時に手洗い、体温チェックなどの健康管理や校内での消毒、給食時は、黙って食べる様に指導するとともに、音楽の授業での合唱やリコーダーなどについては、感染状況に応じて行っています。また、学校でクラスターを発生させないように、家庭内での感染防止対策についても各家庭に協力依頼をさせてもらうこととしています。</p>
教育次長	<p>牧谷小のスクールバスについて、これまでは、教育委員会で4台待機していましたが、牧谷小近くに用地を確保し、そちらで待機することとしました。</p>
長瀬委員	<p>フォートナイトについて、元々のめり込んでしまう子どもがいると心配していましたが、コロナで拍車をかけて、寝不足や不登校など影響が出ていると聞きましたが今はどうですか。</p>
学校教育課長	<p>昨年度、これは親の問題でもあるという認識で、PTAがチラシやパンフレットを作成し活動してくれました。完ぺきとは言えませんが少なくなったとは感じています。本年度も引き続き活動してくれると聞いていますが、無理やり取り上げるとストレスの捌け口がなくなってしまうので、そちらのケアも重要だと感じています。</p>
中島委員	<p>最近、子どもの自殺が増加しており、コロナの影響も大きく、親からのDVもあると聞いていますが、そういったことはどうですか。</p>
学校教育課長	<p>ゼロではないです。市の福祉担当などと連携を取りながら支援に入っているケースもあります。学校での子どもたちの様子を注意しながら見逃さないよう、後手にならないように対応していきたいと考えています。</p>

秘書課長	つづきまして、教育長からごあいさついただきます。
教育長	<p>この4月からお世話になっています島田です。よろしくお願いします。会議中の話を聞いていると、つい2週間前まで学校の現場にいましたので、こうなっていますとか言いたい場面がありました。フォートナイトの件については、学校での様子がおかしいといったことがあり、その都度対策を考えて行っていました、とにかく後手にならないようにしてきました。</p> <p>校長会や教頭会で、コロナで出来ないことが増えるとストレスが溜まり、楽しみがなくなり、悩みを抱えていても先生に相談出来ないということになってしまうので、コロナだから出来ないのではなく、何とかして出来る方法がないか考えるようにお話しさせていただきました。</p> <p>第6次総合計画の基本構想を見させていただきましたが、教育関係についてたくさんの方が書かれており、びっくりしたのと大事にされているのだと感じました。</p> <p>また、教育大綱についても、大変分かりやすくなっており、皆様のご苦勞があったのではないかと思いますと同時に、この大綱が絵に描いた餅にならないように、具体的には教育振興基本計画の中で反映していきたいと考えています。</p> <p>とにかく、皆さんが熱く語られることに感動しました。これからもどうぞよろしくお願いします。</p>
秘書課長	それでは、以上で令和3年度第1回総合教育会議を閉会といたします。長時間のご協議をどうもありがとうございました。

令和3年度 第2回 美濃市総合教育会議 会議録

1 開催日時

令和3年11月25日（木）午前10時00分～午前11時10分

2 開催場所

美濃市防災中央コミュニティセンター2階中会議室

3 出席者（構成員）

市長（議長）	武藤 鉄弘
教育長	島田 昌紀
教育委員	市原 慶子
教育委員	中島 正憲
教育委員	別府 徹也
教育委員	長瀬 秀子

4 事務局

教育次長兼教育総務課長	井上 博司
学校教育課長	武井 由典
人づくり文化課長	曾貝 和人
教育総務課課長補佐	古田 志保
秘書課長	高橋 保雄
秘書課課長補佐	島田 勇人

5 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名 傍聴者 0名

6 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会議事項
○美濃市教育振興基本計画について
- 4 教育長あいさつ

7 会議録＜開会 午前 10:00 閉会 午前 11:10＞

発言者	発言内容
秘書課長	<p>ただいまから令和3年度第2回的美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。</p>
市長	<p>みなさん、おはようございます。朝晩めっきり寒くなってきました。コロナの状況を見ますと、昨日の岐阜県の感染者数が2人、東京が5人ということで、割合にしたら相当高い状況となっております、中々0人となりません。しかし、美濃市は、1ヶ月以上感染者0人ということで市民の皆さんの日頃の努力に感謝申し上げます。経済も回していかなければならないということで、恐らく来月1日には県において色々制限されていたものが解除される見込みです。今、6次総の概要版の説明会を順次行っている所ですが、教育の話や子どもの数が少ないので少子化対策といった話もありますが、中々、一朝一夕にできるものではありませんが適切な施策をやっていきたいと思っています。その土台となります「教育大綱」を中心に、それを具体化した「教育振興基本計画」の策定に向けてやっていきたいと思っております。残念ながら、昨日愛知県において、中学生が同級生に刺されるといった痛ましい事件がありました。美濃市ではそういったことが起きないように教育環境等を整えていけたらと考えています。</p>
秘書課長	<p>ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第4条に基づいて市長が議長となりますので、会議の進行をお願いします。</p>
議長	<p>それでは、要綱に基づき、議長を務めさせていただきます。</p> <p>前回の総合教育会議において「第2期教育大綱」を承認いただき、次のステップとして、「教育振興基本計画」の素案を作成しましたので、その内容につきまして協議したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。それでは、教育次長から説明をお願いします。</p>
教育次長	<p>それでは、「教育振興基本計画」の素案について、説明させていただきます。なお、事前に資料を配布させていただいておりますので、細かい説明につきましては省きます。これまで、教育委員会では定例会2回と臨時会を1回で振興計画について協議いただき、策定委員会におきまして、全体会議を1回、分科会を2回開催し委員の方から意見をいただきながら素案を作成してもらいました。</p> <p>以降、資料（赤スタンプ1～3）について説明。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたが、今</p>

	<p>回の資料については、事前にお渡ししてありましたので、何かご意見がありましたらよろしくお願ひします。私が少し思ったのは、基本方針と重点、基本施策、取組み内容の文言を見ますと「推進」「実施」「取組み」とありますが、「何を」「どのように」といった具体案がないように見えます。基本計画は誰の為に作るのか。実施する我々の為なのか、学校の現場の先生の為なのか、子どもやPTAが見て理解する為なのか、きちんとしておかないといけない。最終的には、子どもの為につくるものですが、これを読む人は誰ですか。子どもですか、PTA ですか、先生ですか、教育委員会ですか。私疑問なんです、皆さんどう思われますか。</p>
中島委員	<p>事務局としては今、市長が言われた具体的なことについて、どのように考えていますか。これに、取組み主体ということで、学校とか教育委員会とかなっていますが、学校の中でも教師がやるべきこと、それに対して家庭が協力することといったような区分けはどうなんでしょうか。</p>
教育次長	<p>具体的な内容を書き始めると、どこまで書いていいものなのか、書ききれないくらい膨大になることが予想され、これを見ていただいて、「学校はこんなことをやっているのか。」とか、「保護者はこういったことを考えていかなければいけないのか。」といったことを少し具体例を出しながら、こんな取組みといった表記の方がより分かりやすいのかなと思います。どれを具体例としてあげるのかによっては、色々な事が生じることもありますので、考えていきたいと思ひます。これを見ることによって、「学校はこういうことをやっているから、子どもたちの学力がついてきているんだな。」とか、「保護者は、こういうことを求められているんだな。」と感ひてもらえる。これを書くことがすべてではないと思ひますが、具体例を出しながら、もう少し絞り込んで修正をかけるように準備をしているところです。取組み主体については、誰が中心でやっていくのかということは大変なので残したいと思ひています。具体例を出した時に、それだけでいいのかと言われれば、「これは代表的な例です。」としていかなければいけないと思ひます。</p>
中島委員	<p>「教育振興基本計画」をそれぞれの部会に分けてやってもらっているところで、資料の「基本施策に対する各部会からの意見一覧」の中の基礎学力、思考力・判断力・表現力のところに、放課後子ども教室でのアクティビティの例として、季節野菜のスケッチとか、こういう細かい具体的なことまで落とし込んでいくのか、今の説明だとそこまでやると膨大なものになってしまうので、そういうことは誰がやるのかということくらいにしておくのか、学校がこういうことをするから、それに対して家庭ではどうい</p>

教育次長	<p>う教育をしたらいいのかというところまでもっていくのですか。</p> <p>そこまでは書ききれないので、読んでいただいて、学校ではこういうことをしているから家庭では何をしていけばよいか考えていただけるといいと思います。先ほどのご意見をいただいたのは、子どもの教育等に熱心な方で、当日欠席をされたため文書で提出されました。ですから、非常に多くの具体例が書かれていますが、これを全て採用するかしないか、ということではありません。</p>
中島委員	<p>内容についての評価は「施策達成の目安とする指標」にも関わってくるのですか。</p>
教育次長	<p>中身を具体的にしたのが主な取組等のところになり、施策の方向性と一致したものになっていかないといけないので、もう少し見直しをしていく必要があると考えているところです。</p>
中島委員	<p>ここに書かれていることは、案だと思えば良いですか。数値化することが難しいものもあると思いますが。</p>
教育次長	<p>最終的には教育振興基本計画の出来れば 39 計画すべてあげようと思っていますが、あげたところでこれでは意味がないのではといったような意見が出てくれば、なしにすることもあるかもしれないと思っています。</p>
中島委員	<p>これは、どういう風に議論していったらいいんですか。細かいことを一つ一つやるのか、全体を見てこういう風にしたらどうかとかそういうことですか。</p>
議長	<p>これを読んだ人が果たして分かるのかと、学校はこんなことをやるんだということが分かるのかと。例えば、資料3の「基本方針1 重点1 基本施策1の3 主な取組等」のところで、「楽しく深く学べる授業実現及び ICT 活用に関する各種研修の実施」とありますが、どんな研修なのか、先生はこんな研修を受けているということが、PTA が分かるとより協力がしやすくなるのではないかと。各種研修とした時点で何をやっているか分からない。例えばタブレットの取扱いの説明会なのか、授業において5Gで何が出来るのかといった研修会なのか、あるいはリモートワークの研修会とかいったことが具体的にっていると分かりやすい。その下の「4 施策達成の目安となる指標」の項目についても、「学ぶことが楽しく、考えが深まる事業の推進」で少人数指導非常勤講師の配置で、実績値が11人、</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>目標値が 11 人となっているが、より良くしようという発想でいうと、11 人を 22 人にするなら分かるが、現状維持しましょうというのを目標とするのは違うと思う。県平均以上の教科数の割合の目標値も現状維持を目標としているが。</p> <p>学校の場合は、子どもは毎年変わります。一度達成できたからといって、それがずっと維持されるわけではないです。毎年これを目標にすることで繰り返していくことが重要だと考えています。小学校の国語と算数、中学校の国語と数学が、県平均以上となっているので、この次の子どもたちも達成していきたいと考えています。</p>
<p>議長</p>	<p>そういうことを聞かなければ分からない。取組みのところにそういった内容が書かれていれば分かるが、聞かないと分からないようではダメ。書いた人は分かっているけど、結局先程も言いましたが読む人は誰ですか。そのあたりが中々伝わらない。たくさん書く必要はなくて、本当に分かりやすく 2, 3 つで十分だと思います。学校の先生は、ここに書いてあるからやるとか、書いていないからやらないということはないので、PTA が見て分かればいいと思う。</p>
<p>長瀬委員</p>	<p>最初に案をいただいた時よりも、かなり分かりやすく、イメージがしやすくなっているなと感じました。保護者としては、不登校といじめについて非常に関心のある所だと思います。「基本施策 16 不登校への支援体制の充実」のところの指標が「進路先が確定して卒業した中学校生徒の割合」となっており、非常に違和感があります。小学 2 年生で不登校になって苦しんでいる保護者の方もみえます。いじめに関しては、「基本政策 19 いじめを行わない心を育てる教育の推進」がありますが、いじめはだめだということはみんな分かっているのだけど、なぜ無くならないかという、それがいじめだという認識ができていないからだだと思います。そこそが小学校、中学校で教えるべきで、主な取組のところに、「いじめにつながる行動について学ぶ」ということを是非入れていただきたい。</p>
<p>別府委員</p>	<p>「基本施策 7 学校給食センターを活用した食育の推進」の指標で、地産地消率の実績値が 17.8%、目標値が 19.6%となっていますが、県平均くらいなのですか。</p>
<p>教育次長</p>	<p>美濃市としては県平均より上です。野菜類については、季節的なことがあり、時期によっては岐阜県では採れないものがあり、県外産になったりします。美濃市産を是非という声もありますが、美濃市だけで安定的に供</p>

	<p>給できる農家がないのが現状となっています。</p>
別府委員	<p>中有知小や大矢田小のように、授業の一環として、生産者とのふれあいとかも大事だと思います。</p>
議長	<p>「基本施策7 学校給食センターを活用した食育の推進」にしても、ムダなことがいっぱい入っている。「2 施策の方向性」で「現在の学校給食センターは見学や学習する場がありませんでしたが…」とあるが、そんな記述は必要ありません。今できない言い訳を書いてあるだけで、まったくの無意味。「2 施策の方向性」と「3 主な取組等」に書いてあることと同じことが書いてある。新たな学校給食センターを活用した食育に取り組むとある。何に取り組むのかということが分からない。こういったことが他にもたくさんある。今も食育については、やっているんでしょ。</p>
教育長	<p>学校給食センターを利用するという点では、新しいところでは見学ができるという点を記載させていただきました。現状は難しいので、そういう違いについて記載しています。他市の多くの学校が、クリーンセンターの見学に行くのと同じように給食センターの見学に行くという学習は行っています。</p>
議長	<p>それはそれでいいんですけど、食育の推進という大きな項目に対して、主な取組みで給食センターの見学というのは分かりますが、食育をどうしていくか、施策の方向性とはちょっと違う。地産地消率の割合が上がったらどうなのか。目標値が19.6%となっていますが、その根拠が説明できますか。食育の推進に地産地消は関係あるんですか。</p>
教育長	<p>あります。地元で採れる野菜を活用した料理ですとか、農家の方々の話を聞いたりですとか。</p>
議長	<p>そうであれば、地産地消の率をどう考えるのか。各家庭でも地元の野菜を食べましょうということを教えるのであれば分かるが。そういったことで、各家庭の地産地消率何%を目標にというなら分かりやすい。食育とは直接かかわらないのではないですか。一番大事なのは3食正しく、栄養バランスのいい食事を食べましょうとかそういうことではないのですか。</p>
学校教育課長	<p>食育は大きく3つに分かれていると言われていまして、栄養のバランスを理解すること、食文化を学習すること、生産者や食に関わる方々への感謝といったことで、給食センターの見学となると、食に関わる方々への感</p>

議長	<p>謝ということで食育になると考えています。</p> <p>今言われたことをそう書いたらどうですか。非常に分かりやすいと思います。これを見ていると、「児童生徒がおいしいと思える献立に取り組んでいく。」とありますが、みんながカレーライスがよいと言えば、そうなるのかと言ったら、おかしな話になります。</p>
学校教育課長	<p>食育全体については家庭科の時間で行いますが、給食センターが関わる食育となると、給食で提供している食材をもとにしながら今のような説明をしていくとか、給食に関わることをいかにつなげて指導していくかですので、ここの部分については、給食センターを活用した食育という点についての記述ということでご理解いただければと思います</p>
議長	<p>いじめの問題ですが、何がいじめなのか。難しい問題で個人個人によって受け止め方が違う。いじめをしてはいけないことはみんな知っているのに、なぜなくなるのか。そこをどうやっていくのが重要なんだと思います。あと、グローバルのことで色々書いてありますが大丈夫ですかね。例えば「基本政策4 コミュニケーション能力を育成する外国語教育の実現」について、市原委員どう思われますか。</p>
市原委員	<p>私たちの時と今の教育は全く違う。単語や文法を知っていればいいと問題ではなくなっている。外国の方と話がしてみたいから学びたいと思う気持ちを育てることが重要なのかなと思っています。私たちの時代のように単語や文法をいくつ知っているかという教育とこれからの教育はすべてが変わってきていると思う。特に、学校に関係ない方や地域のお年寄りなど、IT 教育やらタブレットの話をして、まったく分からないといった状況で、どんなに書いていただいても分かってもらえないと思います。ただ、これからの教育は、こういうことをやらなければいけないということ、こういった子どもたちを育てたいという思いをもっとわかりやすく表現して欲しいなと思います。</p>
議長	<p>今、6次総の説明会を行っていますが、その中で、とにかくネイティブをたくさん入れないとダメといった意見がありました。子どもたちが日本語を話すのに文法なんて習っていませんよね。けれど、しゃべれるようになっていきます。英語もそんな風にできないかと思います。文科省の学習指導要領ではどうなのでしょうね。</p>
教育長	<p>中々難しいですね。簡単に言うと入試に対応できるかということもありますし。</p>

議長	<p>小学校3年生くらいまでなら、入試とか関係ないですよ。</p>
教育長	<p>ただ、入試に対応できるかだけではないので、学習指導要領の中でやらなければならないところが入試には出ますので、当然やらなければいけません。それより、楽しく意欲を持って学ばせるということで、ネイティブの方などを入れたり、それ以外にも出来れば、外国の方と接する機会を特に希望する子ども達には、そういった場を提供してあげることができるというなど考えています。こうすればすべていいというものは、中々ないと思います。</p>
議長	<p>入試は、高校入試ですよ。子どもは知らないうちに言葉をしゃべり始めますよね。文法とかは高校入試ですよ。</p>
学校教育課長	<p>文科省もそういう問題があって、小学校3年生から英語教育が始まるんですけど、小学校では文法で教えるというよりも、この場面では、このフレーズということを中心にやっていて、中学校でも文法は後付けの説明という形で進めています。基本的に学習指導要領に沿ってやるんですけど、美濃市の場合、それをどう扱うかということの中に盛り込むということで、「やりとり」や「即興性」を特に中心にして取り上げて、先ほど市原委員からのご意見で楽しく、英語に対する抵抗感を少なくしながら、ネイティブの音をいかに聴きとれるか、それに近い発音であったり、その音をカタカナにするのではなく、聴いた音を真似て話す、物を見たら日本語に置き換えず直ぐ英語と結びけていくような授業展開をしていくことが美濃市の特色になっていくと思いますので、そのあたりをもう少し分かりやすい表記にしたいと考えています。発音しましょうとかいったことを美濃市の特色として分かりやすい表記にしたいと考えています。</p>
議長	<p>簡単に言うと、小学校4年くらいまでは文法とか関係なく、日常会話だけをやっていくということを出してもいいのではという意味です。美濃市の教育大綱に基づく方針はこうですよと、いつから始めるかはまた別の話で、あまり学習指導要領に合わせる必要もないのかなと思います。それなら、ここに書かなくても学習指導要領とおりでいいのですから。イメージはそんな感じです。</p> <p>最近、私立の学校では英語しか使わず、訳が分からず学校から帰ってくるといったことも聞きますが、そんなことまでは無理だと思います。</p> <p>3歳の孫がいますが、しまじろうとかなんとか教材で見ながら聴きながらしていると勝手に覚えていきます。そんなようなことが出来るといいな</p>

	<p>とも思います。小学校でもそういうことができるということを書いても決して間違っている訳ではないですし。</p>
教育長	<p>常に英語に触れる環境を用意するというか、うちの娘の場合は中学校3年生くらいまで英語を習っていましたが、今になっては何の役にも立っていないというか、環境が無いと全く使いもしないので、そういった環境を作ろうと思うと各学校に一人ずつは常にネイティブがいるとかそういう発想になっていくのかなと思いますが、たまにしか使わなければ話せなくなりますので、そうなると書きづらくなってしまいます。あまりにも出来そうにないことを書くというのもどうかと思います。</p>
議長	<p>それは予算的にということですか。</p>
教育長	<p>予算的なこともありますし、人員の確保のことも課題です。一部のところで、一日中常に英語でやっているというところもあると聞きますが、そこまで振り切ってしまうことを本当に市民の方が求められているのか、子ども同士のコミュニケーションも取りにくくなるので、本当にそれでいいのか、バランスのとり方も十分検討していく必要があるのではないかと思います。時代によって考え方も変わってきますし。</p>
議長	<p>予算がないということは、やめて欲しい。書いたところで予算がないから出来ないという話ではなく、理想を書いてもらった上で、行政としてはどこまでやるんですよ、学校としてはどこまで出来るんですか、子どもたちはどこまでやるんですか、ということで、書いたから全部やらなければいけないということでもないですし、美濃市だと7校しかないの、毎日1日中いなくてもいいので3人採用して、午前と午後でローテーションを組むということでもいいですし。小さな子どもであれば、大体話せるようになるんじゃないですか。</p>
教育長	<p>我々の小さい頃は、どちらかという英語を話すのが恥ずかしいと感じていましたが、今の子どもたちはそういった抵抗感がありません。それは、小さい頃からやってきている良さだと思います。</p>
議長	<p>これには理想形を書いておけばいいのであって、そのとおりにやらなければいけないのではなくて、それに向けて努力することが大事である。一つずつ見ていくと、それぞれ問題があると思いますので、皆さんで見直して、本当に分かりやすい内容なのかを確認してもらいたい。いつまでに作るんですか。</p>

教育次長	当初は年度内で令和4年度の予算に反映できればと思っていましたが、もうすぐ査定に入るということで、令和4年度の途中か令和5年度に予算化できるものはしていくとスケジュール感でやっていきたいと思います。
議長	どうしても必要なら、6月補正でも9月補正でもあります。
教育次長	大綱や6次総で根拠付けしていますので、今年度中、もしくは年度明けに公表できるようなスケジュール感で見直す必要があるかもしれません。
議長	それでは、内容をもう少し見直しながら、何かご意見等ございましたら、教育委員会までよろしくお願いします。できるだけ市民が読んで分かりやすく、共感いただけるようなものにしたいと思います。それでは事務局にお返しします。
秘書課長	それでは教育長よろしくお願いします。
教育長	ありがとうございました。今、議論いただきました、より具体的な取組みであるとか、分かりやすい表現、新たな視点の追加などをもう少し検討させていただきたいと思います。
秘書課長	それでは、以上で第2回の総合教育会議を閉会といたします。長時間のご協議をどうもありがとうございました。

令和3年度 第3回 美濃市総合教育会議 会議録

1 開催日時

令和4年1月28日（金）午後3時00分～午後3時45分

2 開催場所

美濃市防災中央コミュニティセンター2階中会議室

3 出席者（構成員）

市長（議長）	武藤 鉄弘
教育長	島田 昌紀
教育委員	市原 慶子
教育委員	中島 正憲
教育委員	別府 徹也

4 欠席者（構成員）

教育委員	長瀬 秀子
------	-------

5 事務局

教育次長兼教育総務課長	井上 博司
学校教育課長	武井 由典
人づくり文化課長	曾貝 和人
教育総務課課長補佐	古田 志保
秘書課長	高橋 保雄
秘書課課長補佐	島田 勇人

6 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名 傍聴者 0名

7 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会議事項
○美濃市教育振興基本計画について
- 4 教育長あいさつ

8 会議録＜開会 午後 3:00 閉会 午後 3:45＞

発言者	発言内容
秘書課長	<p>ただいまから令和3年度第3回的美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。</p>
市長	<p>みなさん、こんにちは。この総合教育会議ができてから7年目となります。中々目に見える成果のような部分は少ないですが、継続していくことが大切なのかなと思います。10年後、20年後にあの時正しい方向性が示されて変わっていったんだとなればいいと思っています。コロナの感染状況ですけれども、本日は県内で900人を超えるという話で、正に目の前にウイルスがいるといった状況となっています。学校でも苦勞しながら安心安全対策を行っていますが、感染の勢いは止まらないのではと危惧しています。保健所機能もパンクしており、市からも職員1名を保健所に派遣することになっていますが、感染者が900人ともなると、恐らく濃厚接触者を追えないだろうと思います。子どもたちの学習に影響が出ることを心配しています。この2年間は、コロナ対策ばかりでしたが引き続きコロナ対策を行っていかねばなりません。この会議については、私が色々注文を付けるので皆さんにご議論いただいています。出来るだけ分かりやすいものを作りたいという思いでいます。本日もみのりある会議となるようご協力をお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。</p>
秘書課長	<p>ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第4条に基づいて市長が議長となりますので、会議の進行をお願いします。</p>
議長	<p>それでは、要綱に基づき、議長を務めさせていただきます。</p> <p>本日は、前回の会議に引き続きまして、「美濃市教育振興基本計画」について、ご意見いただきたいと思います。この計画案については市民の皆さまに出来るだけ分かりやすく共感いただけるようなものになるよう内容を検討し、修正してまいりました。特に今後5年間の取組み、達成の目安となる指標については、具体的に掲載しました。去る1月17日に検討委員会を開催し、委員の皆さまからご意見をいただき、更に指標に対しての説明等を追加したものが、本日配布させていただいた計画案になります。本日の会議において委員の皆さまからのご意見を伺いながら、何とか本年度中に策定したいと存じますのでよろしくをお願いします。それでは内容につきまして教育次長から説明をお願いします。</p>
教育次長	<p>それでは、説明させていただきます。ただいま議長からご説明のありま</p>

	<p>したとおり、今年度「教育振興基本計画」につきまして、この総合教育会議、教育委員会定例会、さらには検討委員会、その中で学校教育と社会教育に分けて部会を開催し意見等をいただきました。当初事務局が作成したものは40施策となっていましたが、皆さまのご意見等を反映し33施策に絞り込みました。1月17日の検討委員会で最終的な案として提示させていただいたところ、委員の皆さまからは計画全体において、「以前と比べすっきりした」や「具体的な内容が入った」といったことで「市民に対しても分かりやすくなったのでは」といった建設的なご意見をいただきました。ただ、中身については、2点、まず「いじめに関すること」について、多くの意見をいただきました。事務局とやりとりをしながら、いじめのことについては、一面から見るとは難しく、多角面から見なければ最終的な目標である根絶ということにはならないということで、4つの計画の中でいじめに関する取組みを策定していることをお話しさせていただいたところ、「そういうことで重点を置いているのであればいいのではないか」というご意見をいただきました。次に「学校図書館教育の充実」については、以前はどちらかというところ「情報を得る機能」としてのところに重点を置いていましたが、読書は情緒教育にもなるということで「楽しく読書を出発するような取組みについて触れておくべきではないか」というご意見をいただき、その点を修正いたしました。</p> <p>全体としては、指標について、記載してある事項だけでは分かりにくく、出来るだけ補足を入れて欲しいとの意見をいただき、すべてではありませんが、理由等を追加させていただきました。</p> <p>本日、この総合教育会議で33の計画について、ご承認いただければ2月からパブリックコメントを行いまして、市民の皆さまからご意見をいただくステップへ移行したいと思っております。そのあたりを踏まえまして、委員の皆さまからのご意見をいただければと思っております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。皆さん事前に資料を見ていただいていると思いますが、何か気が付いた点とかありましたら、ご発言いただけますでしょうか。参考までに、私が気付いた点は、A3サイズで基本方針ごとにスケジュールを示してもらえると分かりやすいのではないかと思います。例えば、令和2年の実績値が33.3%、令和7年の目標値が100%の場合、令和3年度は50%といったようなスケジュールが分かる表があるのではないのでしょうか。</p>
中島委員	<p>今、市長が言われたようなことを私も思っておりまして、令和7年度までということで、短期、中期、長期といった3つくらいのスケジュールで、それぞれの期間で検証し、確認や修正をしながらできるといいと思いま</p>

	<p>す。特に今コロナで行事など何も出来ないので、市民の活動等についても何もやらなかったという表記になってしまいます。他の何かで評価する形の活動を市民会議の中でやっていきたいと思っていますので、期間を決めた形で活動がこの中に含まれるといいのかなと思います。一般の人が見て分かりやすくするのであれば3つに分けた方がいいと思います。特にいじめについては、その都度対応等も変わってくるということもあると思うので、3つくらいに分けた方が検証しやすいと思います。</p>
教育次長	<p>その点については、毎年、教育委員会の定例会で事務事業評価の点検をしていただいておりますが、来年度からは、この基本計画に沿ったものに変えていくことを考えています。その中で、数字では表せないけれども、こういうことが出来たなど、中間点ということで設定した数値目標について令和4年度には令和3年度の事業を点検評価することになり、それ以降は令和4年、5年、6年と評価していくこととなりますので、その中で成果や問題点についてお示しさせていただき、それに基づき改善等していきたいと思っています。</p>
中島委員	<p>評価委員は変わらないのですか。</p>
教育次長	<p>今の委員さんの任期は、今年の12月までとなっています。ちょうど、やり方を変える中では、前のやり方と今回のやり方が分かる委員が残られるので、その点もいいのではないかと思いますし、点検評価をしていただく委員の方には説明しながら、ご意見いただければと思います。</p>
議長	<p>その時は、あまり欲張らないように。欲張ると何が何だか分からなくなるので、1つか2つでいいと思います。何か他にありますか。「美濃市教育振興基本計画」としてはこれでいいですか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
議長	<p>それではこれで進めさせていただきます。会議事項については終了とします。事務局にお返しします。</p>
秘書課長	<p>それでは最後に島田教育長ごあいさつをお願いします。</p>
教育長	<p>健康は、病気になってはじめてありがたみが分かると言います。教育も同じで、あとから「ああしておけばよかった」とか「こうしておけばよかった」といっても取り返しがつきません。人はそんなに強くないので、日々</p>

秘書課長	<p>将来を見据えて、今こそこれに取り組もうといったことは難しいと思います。教育は必要感に迫られ、やむを得ずやるんだとなっても遅いことがあります。将来を見据え、一手先を打つ必要があります、それがこの計画の位置付けになると思います。この計画を着実に進めていけば、今ある色々な課題の解決の糸口になるのではないかと考えています。また、お気付きの点などがありましたらご指摘いただけるとありがたいです。本日はありがとうございました。</p> <p>それでは、以上で第3回の総合教育会議を閉会といたします。 長時間のご協議をどうもありがとうございました。</p>
------	---